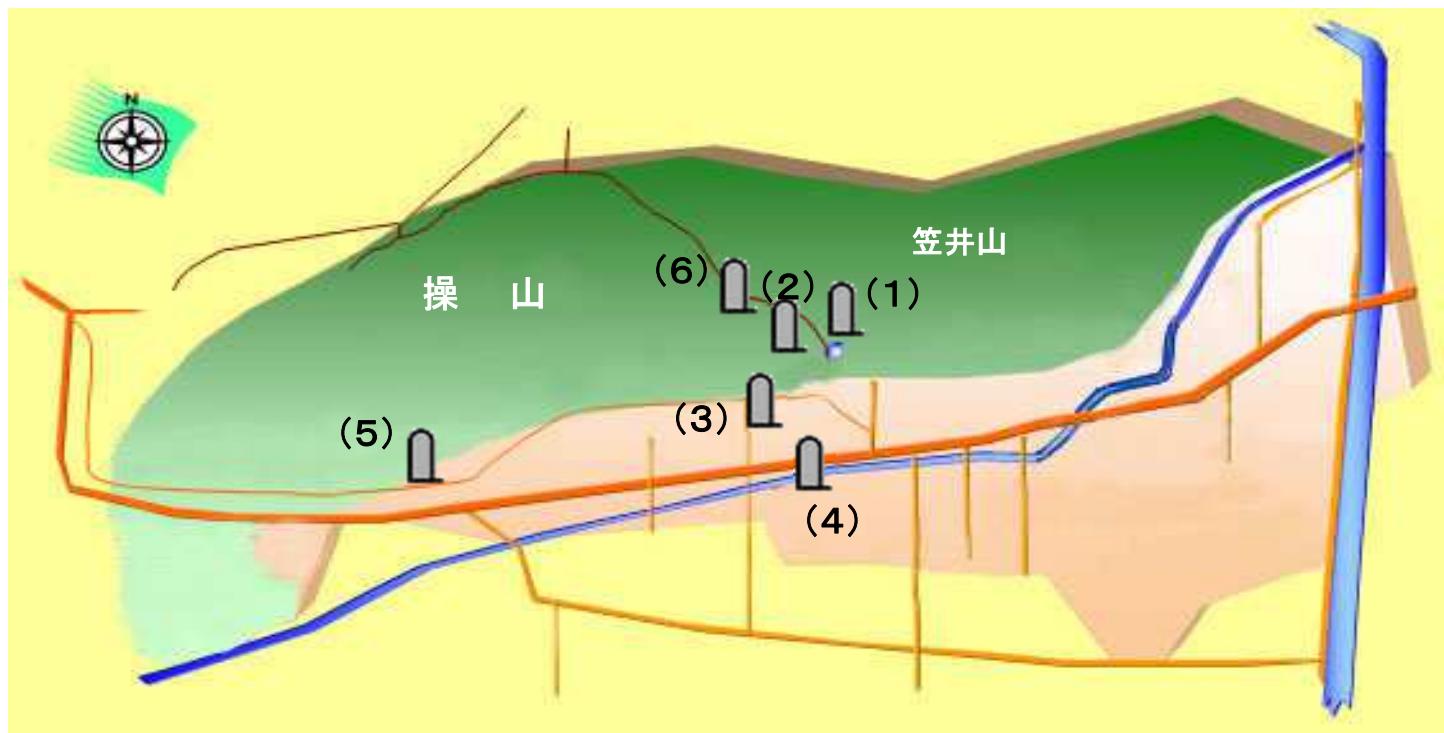


5 題 目 石



(1) 大光院 題目笠塔婆・比丘尼 (ビクニ) 妙善 題目笠塔婆



• 鎮 座：岡山市中区円山1071

- ①大光院 題目笠塔婆（県指定文化財-石造美術）
- ②比丘尼妙善 題目笠塔婆（市指定文化財-石造美術）



① 大光院 題目笠塔婆

・由緒来歴

大光院には「何妙法蓮華経」の題目を刻んだ笠塔婆が二基あります。髭題目が刻まれた日蓮宗独特の石塔で、題目石と呼ばれます。共に年号をもち、康永四年（1345）と応永一八年（1411）の製作年代が知られています。

これらの題目石は、今は岡山市北区西辛川の大覚堂にある別の一基（辛川市場法華題目石）と共に、旧津高郡一宮村（現岡山市北区）西辛川の妙善寺にまつられていたのですが、寛文年間（1661～1672）、岡山藩の寺社整理にあって、この大光院に移されたものです。（岡山市教育委員会）

題目の「髭文字」は、大覚大僧正の直筆と伝えられている。

現在、岡山県南部を歩くと、いたるところで「南無妙法蓮華経 大覚大僧正」と刻まれた石碑を目にする。

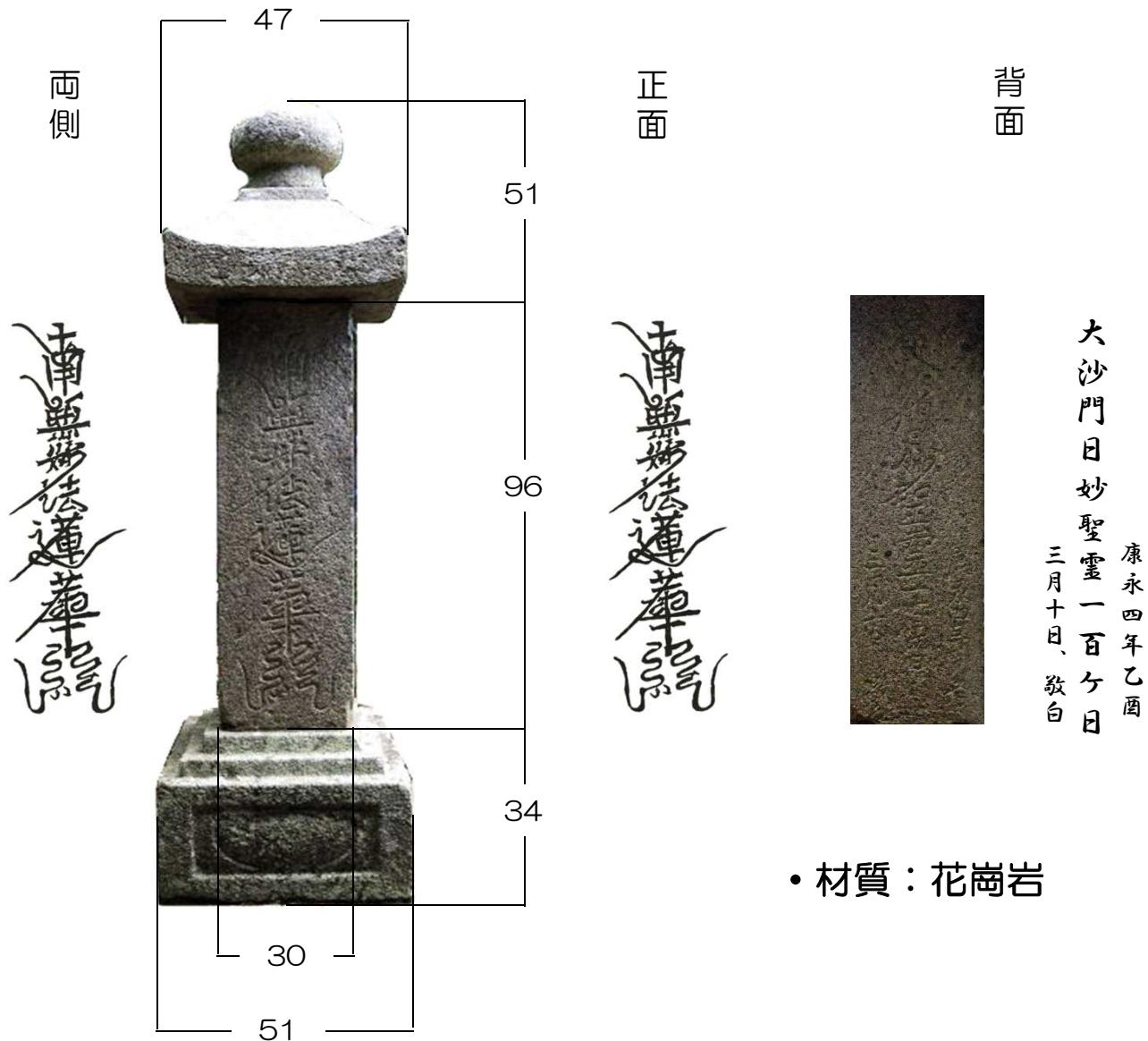
大覚大僧正（1297～1364）は、鎌倉時代から南北朝時代にかけて、京都を中心に畿内・西国で活躍した日蓮宗の僧侶である。『法華経』の題目「南無妙法蓮華経」による救いを説いた宗祖日蓮聖人（1222～82）より75年後、法脈上では、日蓮一日朗一日像一大覚と、4代目に当たる。

大覚大僧正は、若くして京都妙顕寺の日像上人に入門し、その膝下で薰陶を受けるとともに、鎌倉の日朗上人（1245～1320）の許にも度々参じた。長じて西国布教の旅に出、備前津島（岡山市）・備中野山（岡山県吉備中央町）・備後鞆（広島県福山市）などを拠点に法華経を弘め、多くの末寺を開創。日像上人の滅後、妙顕寺の第二祖となり、足利将軍家や公卿の帰依を得て寺門を発展に導いた。

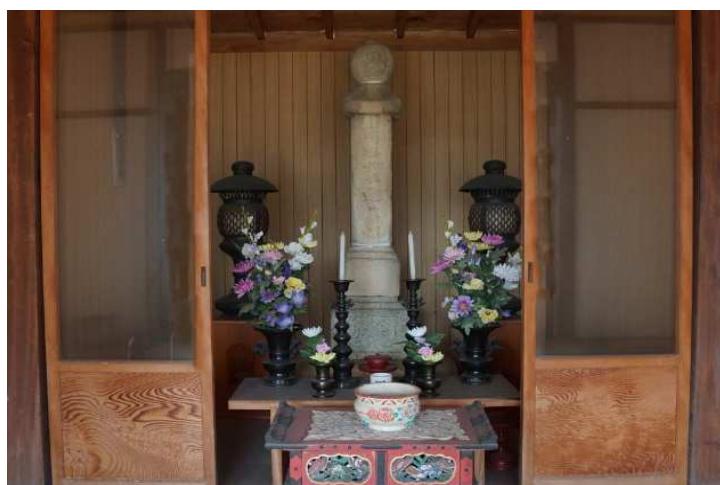
岡山市北区の妙善寺には「新九郎田」の口碑が伝わる。この地を通りかかった大覚大僧正は、新九郎たちが前に進みながら田植えをしているのを目にし、後ろに下がりながら植えれば苗を踏む心配がなく植えやすいと教えたという。この時また、豊作・子孫繁栄の田植え歌として題目を教えたとも伝えられる。新九郎田と称された田んぼは現在、岡山大学の敷地となっている。

（以上「大覚大僧正650遠忌に寄せて-京から山陽へ教線を拡大」常円寺日蓮仏教研究所主任 都守基一氏） 2013年5月14日（中外日報）より抜粋引用

• 大光院 題目笠塔婆 寸法図 (単位: cm)



② 比丘尼妙善 題目笠塔婆



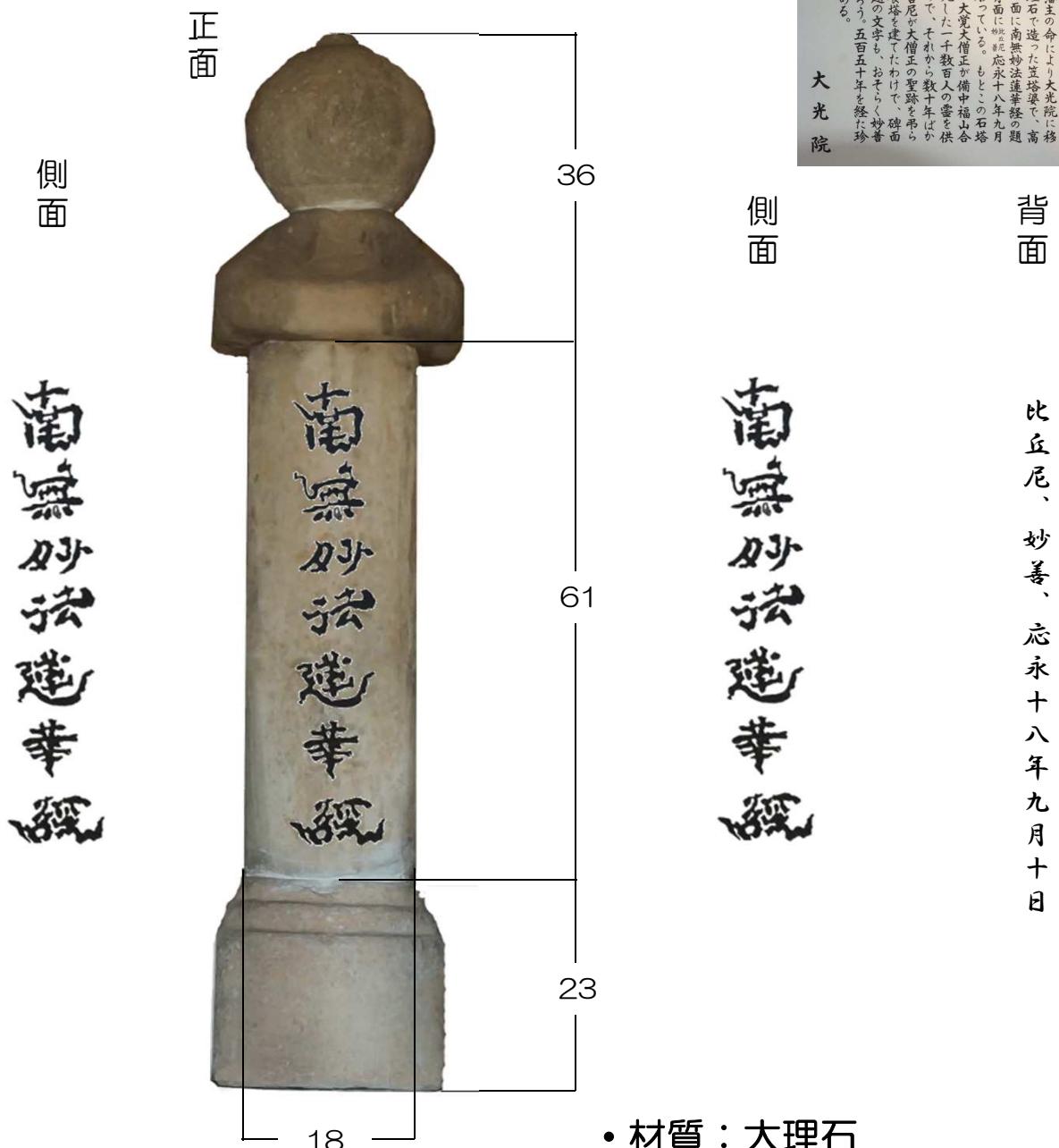
大光院 大覺堂

・由緒来歴

大覚堂の法華題目石

この塔婆は、当寺の境内にある康永4年法華題目石とともに、御津郡一宮町大字西辛川の妙善寺にあったが、寛文7年（1667年）に廃寺となったので、その後藩主の命により大光院に移された。大理石で造った笠塔婆で、高さ1.5m、三面に南妙法蓮華経の題目を刻み、背面に比丘尼妙善応永18年9月10日の銘を彫っている。もとのこの石塔の所在地は、大覚大僧正が備中福山合戦の際に戦死した1千数百人の靈を供養したところで、それから数十年ばかり後に、妙善尼が大僧正の聖跡を弔らい、この供養塔を建てたわけである。碑面に刻んだ首題の文字も、おそらく妙善尼の筆であろう。5百50年を経た珍しい石塔である。（大覚院の案内板より）

・比丘尼妙善 題目笠塔婆 寸法図（単位：cm）



大覚堂の法華題目石

この塔婆は、当寺の境内にある康永4年法華題目石とともに、御津郡一宮町大字西辛川の妙善寺にあったが、寛文7年（1667年）に廃寺となつたので、その後藩主の命により大光院に移された。大理石で造つた笠塔婆で、高さ一五米、三面に南妙法蓮華経の題目を刻み、背面に比丘尼妙善応永十八年九月十日の銘を彫つてある。もとこの石塔の所在地は、大覚大僧正が備中福山合戦の際に戦死した一千数百人の靈を供養したところで、それから数十年ばかり後に、妙善尼が大僧正の聖跡を弔り、この供養塔を建てたわけである。五百五十年を経た珍しい石塔である。

大光院

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

・大光院案内板

大光院の法華題目石

大光院には「南無妙法蓮華經」の題目を刻んだ苦惱婆が二基あります。梵題旨が刻まれた日蓮宗独特的石塔で、題目石と呼ばれています。共に年銘をもち、康永四年（一二四五）と応永十八年（一四一〇）の製作年代が知られています。

これらの題目石は、今は岡山市西辛川の大覺堂にある別の一基（辛川市場法華題目石）と共に、旧津高郡一宮村（現岡山市）西辛川の妙善寺にまつられていたものですが、寛文年間（一六六一～一六七二）、岡山藩の寺社整理にあって、この大光院に移されたものです。

岡山県重要文化財（石造美術） 大光院の康永四年法華題目石

材質
花崗石

総高

一八二センチメートル

銘文

正面 南無妙法蓮華經

背面 大沙門日妙聖靈一百ヶ日

康永四年 各々
三月十日 敬白

岡山市重要文化財（石造美術） 比丘尼妙善題目石

材質
大理石

一一〇センチメートル

銘文

正面 南無妙法蓮華經

背面 比丘尼

応永十八年九月十日

平成十二年三月

岡山市教育委員会

